

2021年度 シャクヤク病害虫防除暦

JA 中野市営農センター

散布量 10a 当たり 3000



散布日	露地作型						散布日	ハウス作型					
	回数	散布時期	散布薬剤	濃度	水 1000 当薬量	対象病害虫		回数	散布時期	散布薬剤と濃度	濃度	水 1000 当薬量	対象病害虫
／	①	4/上 萌芽期	展着剤 (ハイテンパワー) オーソサイド水和剤 80 オルトラン水和剤	10,000倍 600倍 1,500倍	10ml 166g 66g	立枯病 アブラムシ類	／	①	2/上 萌芽期	展着剤 (ハイテンパワー) オーソサイド水和剤 80 オルトラン水和剤	10,000倍 600倍 1,500倍	10ml 166g 66g	立枯病 アブラムシ類 ヨトウムシ
／	②	4/下 出蕾期	展着剤 (ブレイクスルー) ゲッター水和剤	10,000倍 1,000倍	10ml 100g	灰色かび病	／	②	出蕾期 展葉期	展着剤 (ハイテンパワー) ゲッター水和剤	10,000倍 1,000倍	10ml 100g	灰色かび病
／	③	5/上 摘蕾後	展着剤 (ブレイクスルー) ポリオキシシンAL 水溶剤 スミチオン乳剤	10,000倍 2,500倍 1,000倍	10ml 40g 100ml	灰色かび病 (ヨトウムシ 類、コウモリ ガ)	／	③	茎葉 繁茂期	展着剤 (ブレイクスルー) トレノックスフロアブル スミチオン乳剤	10,000倍 500倍 1,000倍	10ml 200ml 100ml	灰色かび病 (アブラムシ類)
／	④	5/中 収穫 3日前	展着剤 (ブレイクスルー) フルピカフロアブル アクタラ顆粒水溶剤 →代替品 アルパリン 顆粒水溶剤	10,000倍 2,000倍 2,000倍	10ml 50ml 50g	灰色かび病 アブラムシ類	／	④	摘蕾後	展着剤 (ブレイクスルー) ポリオキシシンAL 水溶剤	10,000倍 2,500倍	10ml 40g	灰色かび病
／	⑤	6/中 花芽 形成期	展着剤 (ハイテンパワー) トップジンM水和剤 オルトラン水和剤	10,000倍 1,500倍 1,500倍	10ml 66g 66g	菌核病 ヨトウムシ 類	／	⑤	収穫 3日前	展着剤 (ブレイクスルー) フルピカフロアブル アクタラ顆粒水溶剤	10,000倍 2,000倍 2,000倍	10ml 50ml 50g	灰色かび病 アブラムシ類
／	⑥	7/上	展着剤 (ハイテンパワー) モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病	／	⑥	5/下 花芽 形成期	展着剤 (ハイテンパワー) トレノックスフロアブル	10,000倍 500倍	10ml 200 ml	灰色かび病 (褐斑病、炭そ 病)
／	⑦	7/下	展着剤 (ハイテンパワー) トレノックスフロアブル	10,000倍 500倍	10ml 200ml	灰色かび病、 (褐斑病、炭そ 病)	／	⑦	6/中	展着剤 (ハイテンパワー) トップジンM水和剤 オルトラン水和剤	10,000倍 1,500倍 1,500倍	10ml 66g 66g	灰色かび病 アブラムシ類 アオムシ ヨトウムシ類
／	⑧	8/下	展着剤 (ハイテンパワー) トップジンM水和剤	10,000倍 1,500倍	10ml 66g	灰色かび病 (うどんこ病)	／	⑧	7/上	展着剤 (ハイテンパワー) モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病
／	⑨	9/中	展着剤 (ハイテンパワー) モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病	／	⑨	7/下	展着剤 (ハイテンパワー) トレノックスフロアブル	10,000倍 500倍	10ml 200ml	灰色かび病 (褐斑病、炭そ 病)
／	⑩	9/中	展着剤 (ハイテンパワー) モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病	／	⑩	8/下	展着剤 (ハイテンパワー) トップジンM水和剤	10,000倍 1,500倍	10ml 66g	灰色かび病 (うどんこ病)

◎灰色かび病は低温、多湿で発生するので、ハウス内換気等総合的に防除する。また間引き作業によって風通しを良くする。

- 灰色かび病の防除にあたっては、同一薬剤の連用は避ける。
- 斑葉病 (茎の赤い斑点) は、通風、残さ処理、草丈 15 cm 時の防除 が重要 除草と定期防除を行う。
- 収穫後のトップジンM水和剤は、茎葉と地際部にも散布し立枯病を予防する。
25℃以上の高温により多発するため地温が上がる前の5月中旬頃にトップジンM水和剤 または ユニフォーム粒剤を株元散布すると立枯予防となる。
- うどんこ病多発園は枯れこみが早いいため収穫後も防除を必ず行う。11月まで葉色を維持し光合成により十分な養分蓄積を目指す。
- 薬剤による汚れが気になる場合は、ゲッター水和剤に代えてアフェットフロアブルを散布してもよい。
- 10a 当たり薬剤散布量は、萌芽期 1000、出蕾期 2000を目安とし、以降は 3000とする。

シャクヤク (花き) 農薬適正基準

薬剤名	対象病害虫	希釈倍率	使用時期	使用回数(以内)
オルトラン水和剤	アブラムシ類、(1,000倍アオムシ、ヨトウムシ)	1,000~1,500倍	発生初期	5回
スミチオン乳剤	アザミウマ類、(アブラムシ類)、アオムシ	1,000倍	発生初期	6回
アクタラ顆粒水溶剤	アザミウマ類、アブラムシ類、(カメムシ類)	2,000倍	発生初期	6回
ゲッター水和剤	灰色かび病	1,000倍	生育期	5回
トップジンM水和剤	灰色かび病、(うどんこ病)	1,500倍	生育期	5回
ポリオキシシンAL水溶剤	灰色かび病、黒斑病、ハダニ類	2,500倍	発生初期	8回
フルピカフロアブル	灰色かび病、(うどんこ病)	2,000~3,000倍	生育期	5回
アフェットフロアブル	灰色かび病、(うどんこ病)、(さび病)	2,000倍	発病初期	3回
トレノックスフロアブル	灰色かび病、(褐斑病、炭そ病)	500倍	発病初期	6回
オーソサイド水和剤 80	立枯病、茎腐病	600倍	生育期	8回
モレスタン水和剤	うどんこ病、(ハダニ類)	2,000~3,000倍	発生初期	10回
パンチョTF顆粒水和剤 取り寄せ	うどんこ病	2,000倍	発病前	5回
トリフミン水和剤	うどんこ病、(炭そ病)	3,000倍	発病初期	5回
カリグリーン水溶剤	うどんこ病	800倍	発病初期	-
サンヨール	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハダニ類	500倍	生育期	8回
ダコニール 1000	うどんこ病、(褐斑病)、(灰色かび病)	1,000倍	発生前 (予防)	6回
モンカットフロアブル 40 取り寄せ	白絹病	1,000~2,000倍	株元散布	3回
ユニフォーム粒剤	立枯病リゾクトニア菌、(疫病)	18kg/10a	土壌表面散布	3回
ガードベイトA	ネキリムシ類	3kg/10a	株元散布	6回

病害虫発生前の早期防除に取り組み、安全・安心な農産物生産しましょう。

※農薬混用例 水→展着剤→液剤→乳剤→顆粒水溶剤→水溶剤→フロアブル剤→水和剤